

コミュニティ 提案募集シート

団体名	京都府デジタル政策推進課
募集テーマ区分	1.観光 2.健康/医療 3.環境 4.交通/物流 5.農林 6.文化 7.教育 8.行政サービス 9.防災 10.感染症対策 11.その他(スマートシティ) ※複数回答可
コミュニティ 組成理由	A.特定テーマに関する事例研究 B.特定課題に関する情報交換
取組概要	<p>府では、「京都府スマート社会推進計画」等において、「オープンデータの推進」を重点的に取組む施策の一つとし、市町村との連携を図ること等により、オール京都でデータの更なるオープンデータ化と利活用を推進することとしている。</p> <p>本コミュニティでは、府・市町村のオープンデータ担当者を中心に、ワークショップの開催、また、「オープンデータ100」に登録されている利活用事例の一つである「5374.jp」(地域のゴミの分別と収集日を自動で表示するアプリ)のリリースに取組む。</p> <p>ワークショップでは、オープンデータに関する知識の向上を目指した研修、また、「広域で公開に取組むべきデータ」「2023年度取組内容」の議論を行い、「2023年度取組計画」を作成する。</p>
活動希望期間 /スケジュール (半年～最長1年)	2022年度 ・ワークショップ：8月・9月・11月 ・2023年度取組計画作成：11月～12月 ・オープンデータ利活用事例の創出(5374プロジェクト)：8月～3月
担当者連絡先	【所属】政策企画部デジタル政策推進課 【役職】主査 【氏名】小林 堯史 【電話番号】075-414-5676 【メールアドレス】 t-kobayashi16@pref.kyoto.lg.jp



京都府

京都府・府内市町村 オープンデータ利活用推進コミュニティ 令和4年度 取組内容

京都府 デジタル政策推進課

京都ビッグデータ活用プラットフォームに「京都府・府内市町村 オープンデータ利活用推進コミュニティ」を立上げ、以下の取組みを予定。

I 5374プロジェクト



「オープンデータ100」に登録されているオープンデータ利活用事例の1つである「5374 (ゴミナシ) .jp」(地域のごみの分別と収集日を自動で表示するアプリ)をリリース。

- ・8月～11月：「**ごみ収集情報**」等のデータファイルの作成
ごみ収集関連担当課がHP等で公開している情報を基に、以下4つのデータファイルを作成。
 - ・地区の収集スケジュール「area_days.csv」
 - ・収集センターの休止期間「center.csv」
 - ・ごみ区分「description.csv」
 - ・ごみ区分の対象となるごみ種類「target.csv」
- ・12月：「5374.jp」のリリース（以後、収集情報変更時のデータ更新）
Code for Kanazawaがオープンソースとして公開している「5374.jp」を利用し、各市町村版の「5374.jp」をリリース。

II ワークショップ



オープンデータに関する知識の向上を目指した研修、また、「広域で公開に取り組むべきデータ」「令和5年度取組内容」の議論を行い、京都府が主体となって「令和5年度取組計画」を作成。

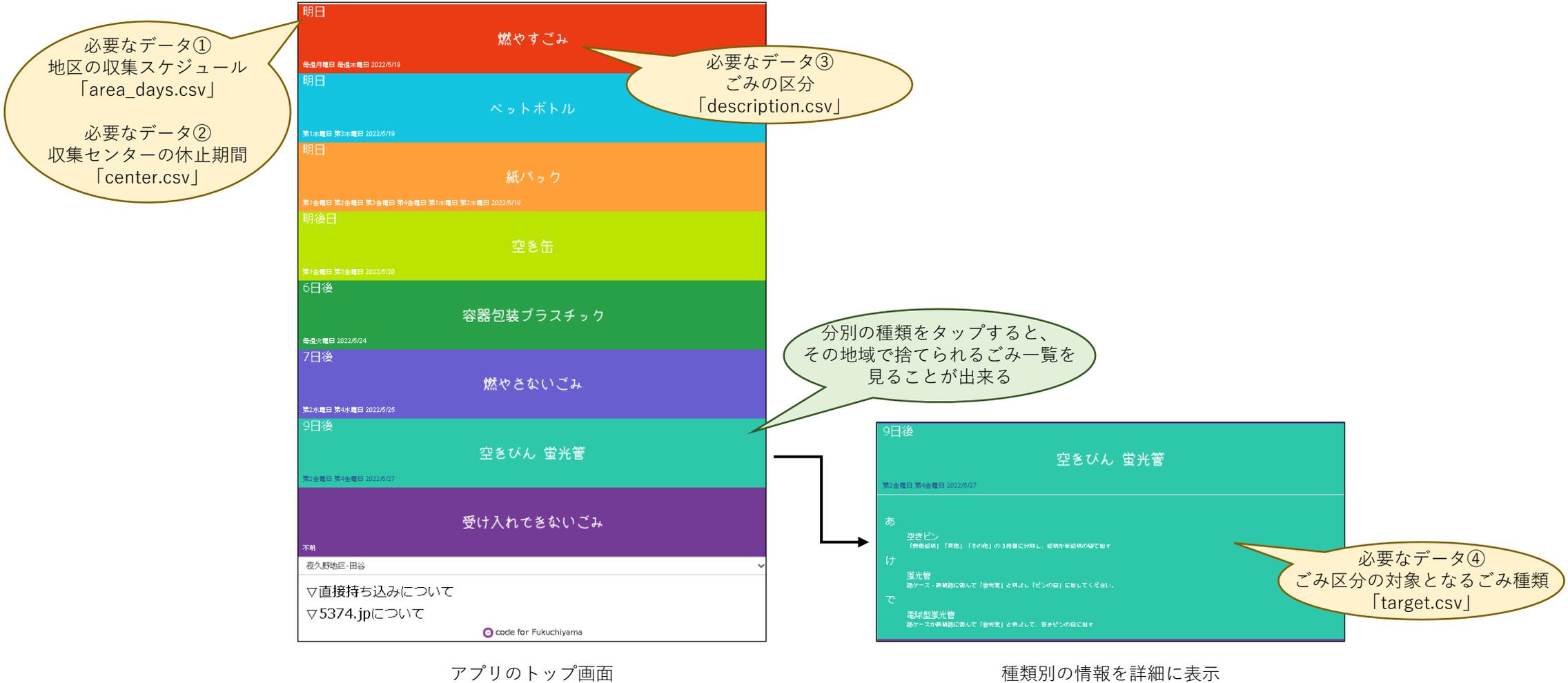
3回の開催を予定。

- 1回目 8月 8日 (月) 午後2時00分～4時30分 (京都府庁+オンライン)
 - ・オープンデータ伝道師 (太田垣 恭子氏) による講演 (研修)
 - ・「5374プロジェクト」の進め方確認
- 2回目 9月30日 (金) 午後2時00分～4時30分 (場所未定)
 - ・テーマ「広域で公開に取り組むべきデータ」
- 3回目 11月11日 (金) 午後2時00分～4時30分 (場所未定)
 - ・テーマ「令和5年度取組内容」

画面イメージと必要なデータ

<http://fukuchiyama.5374.jp/>

地域は、「夜久野地区-田谷」を選択



Step1) データファイルの作成 ※「03 データファイルフォーマット.zip」に4ファイルのフォーマットがあります。また、手引き書を第1回ワークショップにてお渡しします。

地区の収集スケジュール「area_days.csv」

地区	センター	燃やすごみ	燃やさないごみ	資源	びん
あ地区	Aセンター	月 木	水2	火1 火3	水4
い地区	Aセンター	月 木	水4	火1 火3	水2
う地区	Aセンター	火 金	月3	月2 月4:4 6 8 10 12 2	水1

・地区はファイルに記述した順番で一覧の選択肢に表示されるので探しやすい順番にする。

収集センターの休止期間「center.csv」

名称	休止開始日	休止終了日
Aセンター	2014/12/29	2015/01/03

・複数のセンターがある場合には1行に1つのセンターの形式で複数行で記述する。

作成いただいたデータは、オープンデータとして、各市町村のオープンデータカタログサイトで公開いただく想定です。

ごみの区分「description.csv」

label	sublabel	description	styles	Bgcolor
燃やさないごみ			img/moyasanai02.svg	#733b96
資源			img/shigen02.svg	#77ae1f
燃やすごみ			img/moyasu02.svg	#ea3b13
びん			img/bin02.svg	#2dc7aa

・stylesはごみ区分の文字イメージ画像を指定する。(SVG形式)
 ・bgcolorはごみ区分の背景色をRGB(16進数)で指定する。

ごみ区分の対象となるごみ種類「target.csv」

type	name	notice	furigana
燃やさないごみ	Hクッキングヒーター		あ
燃やさないごみ	アイロン		あ
資源	枝豆のネット		え
資源	王冠(金属製)		お
燃やすごみ	アルミ箔		あ
燃やすごみ	アルミ箔の芯(紙製等)		あ
びん	一升びん	酒屋さんなどへ返しましょう・キャップを外してひと洗い	い
びん	ウイスキーのびん	キャップを外してひと洗い・割れたものも回収します	う
びん	カップ酒のびん	キャップを外してひと洗い	か

一致

一致

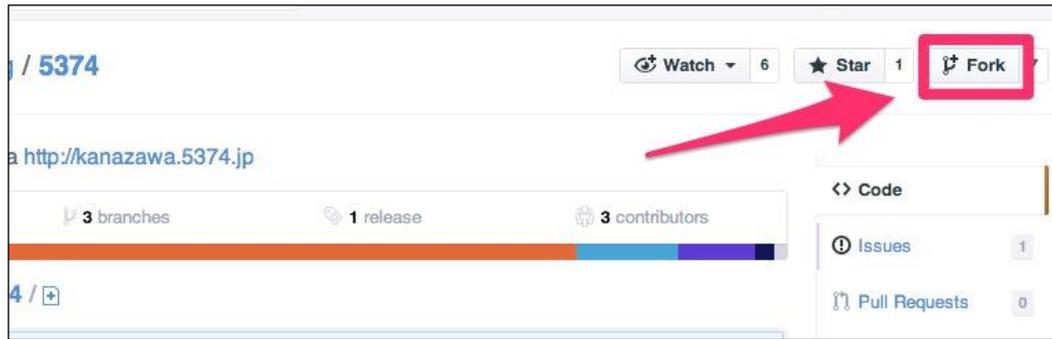
Step2) サービスの立上げ

※別途、手引き書をご用意します。(8月末頃までに)

1. githubのアカウントを作る

世界中の人々がプログラムコードやデザインデータを保存・公開できるソースコード管理サービス

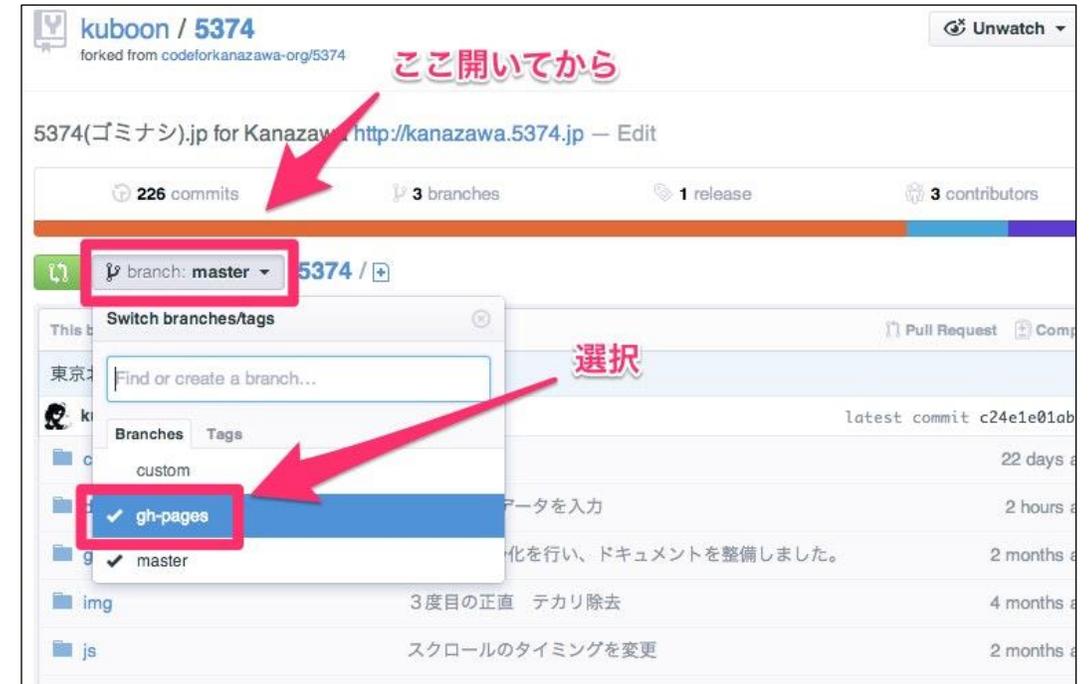
2. 5374プロジェクトをFork (コピー) する



3. gh-pagesブランチを選択する



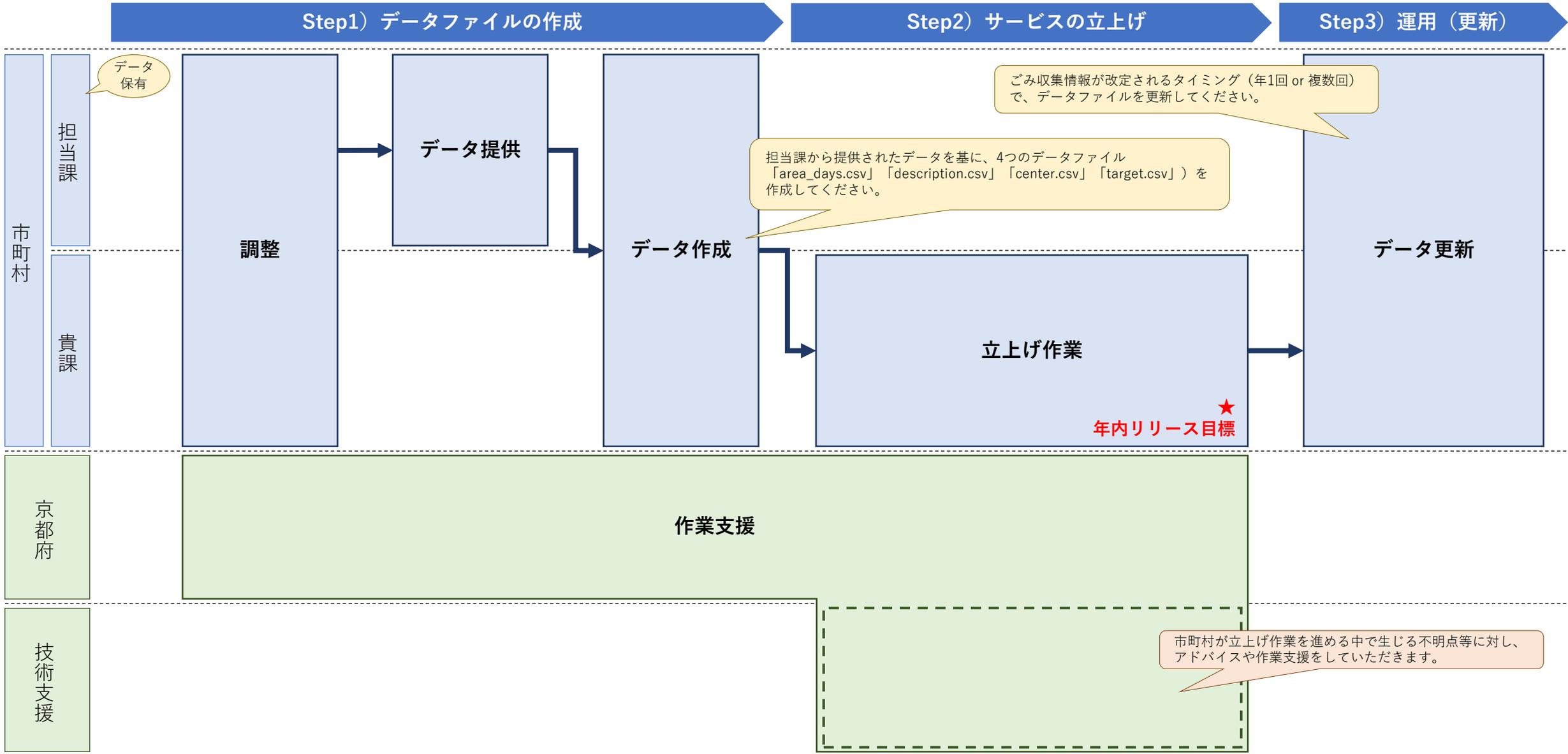
4. データを編集



5. ページの公開

Settings > GitHub Pagesに「Your site is published at ...」と表示されている場合は、そこに表示されているURLで既にWebページが公開されている。

表示されていない場合は、「Source」の項目を「master branch」または「main branch」に変更して「Save」ボタンを押すことでURLが表示される。



	令和4年									令和5年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
マイルストーン				★市町村等との事前協議・調整完了 ★コミュニティ立上げ					★「Step1) データファイルの作成」完了			★「Step2) サービスの立上げ」完了
準備等		市町村との事前協議 依頼事項に係る調整	調整状況の確認 通知	コミュニティ立上げ準備 コミュニティ参加シート提出								
「5374」プロジェクト			<ul style="list-style-type: none"> 京都ビッグデータ活用プラットフォーム入会（未入会の市町村） コミュニティエントリーシート提出（京都府） 					Step1) データファイルの作成	Step2) サービスの立上げ			Step3) 運用（更新）
ワークショップ			8/8（月）午後2:00～4:30 ・オープンデータ伝道師を招いた研修 ・「5374」プロジェクトの進め方確認	第1回 第1回準備	9/30（金）午後2:00～4:30 ・「広域で公開に取組むべきデータ」をテーマにしたワークショップ	第2回 第2回準備	11/11（金）午後2:00～4:30 ・「次年度の取組内容」をテーマにしたワークショップ	第3回 第3回準備	R5度取組計画作成 作成主体：京都府			

年内リリースを実現するためには、11月末までに全市町村がデータファイルの作成を終える必要がある。

第1回ワークショップについて

日時

2022年8月8日（月）午後2時00分～4時30分

会場

京都府庁 職員福利厚生センター3階 第2・3会議室（京都市上京区下立売通新町西入藪之内町）

オンライン参加の場合は、以下URLよりアクセスしてください。

<https://zoom.us/j/93706597041?pwd=NndJazZsc203djBWWE9QSjhpS0lmQT09>

ミーティングID：937 0659 7041

パスコード：695982

スケジュール

14時00分～14時15分 ご挨拶

14時15分～15時45分 オープンデータ伝道師による研修（講師：太田垣恭子氏）

https://www.r-ict-advisor.jp/prom/chiiki_adviser/R4_profile/036_2022_ad.pdf

15時45分～16時30分 「5374プロジェクトの進め方」、次回ワークショップについて

依頼事項

- ・『京都ビッグデータ活用プラットフォームへの入会申込書・誓約書兼同意書』
『コミュニティ参加希望シート』を7月29日（金）までにご提出をお願いします。
- ・出席予定者について、以下URL（京都府・市町村共同電子申請システム）より、
7月29日（金）までにご回答をお願いします。
<https://www.shinsei.elg-front.jp/kyoto2/uketsuke/form.do?id=1657535486981>
- ・ご用意いただける方は、ごみ収集カレンダーをお持ちください。
（イメージ：<https://www.city.kizugawa.lg.jp/index.cfm/6,194,c,html/194/20220221-145522.pdf>）

備考

- ・今回は、ハイブリッド開催とさせていただきます。
- ・第2回ワークショップ（9月11日（金））、第3回ワークショップ（11月11日（金））はオフライン開催のみとする予定です。



会場：職員福利厚生センター
3階第2・3会議室

ゴミ捨てスムーズ、いつでもどこでも！

5374(ゴミナシ).jp

By 一般財団法人コード・フォー・カナザワ (Code for Kanazawa)

防災
減災

少子
高齢

産業
創出

防犯
医療
教育等

「いつどのゴミを出せばいいのかわからない」「ゴミの分別は複雑でむずかしい」
そんな時代はもう終わり。ゴミを捨てるすべての人のためのスマホアプリです。(2013年9月サービス開始)

① 一番近いゴミの日から表示し、地域を選択するだけで収集日が更新される



アプリのトップ画面

② 分別の種類をタップすると、その地域で捨てられるゴミ一覧を見ることができる。



種類別の情報を詳細に表示

5374.jp 誕生のキッカケ

- ゴミの分別が細分化され、自治体は利用者に捨てる曜日や種類の判別を覚えてもらうことに苦労していた
- 利用者にとって、引っ越しや旅先などでの慣れない地域のゴミ分別を調べることは手間だった



5374.jp でこう変わった！

- 細分化された分別方法を覚えなくてもアプリを確認することで適切にゴミ出しが出来るようになった
- 利用者は、引っ越し先や旅先でもどのようにゴミを出せばよいか簡単に検索できるようになった



ゴミ捨てスムーズ、いつでもどこでも！

5374(ゴミナシ).jp

By 一般財団法人コード・フォー・カナザワ (Code for Kanazawa)

防災
減災

少子
高齢

産業
創出

防犯
医療
教育等

コードで地域課題を解決する

5374.jpは地域のゴミの分別と収集日を自動で表示するというシンプルなアプリである。

5374.jpを最初に開発した「Code for Kanazawa」は、石川県金沢市を活動拠点としている。彼らは地域課題をITとデザインで解決することを目的とした有志のコミュニティである。



(メンバーがハッカソンを開きアプリを作成しました)

彼らの特筆すべき点は、市民が自らの地域に存在する課題を集めそれを整理・分析した上で実際に課題解決となるソフト・ハードウェアを開発できる点である。5374.jpは地域住民のゴミ捨てに関する不満を市民の手で解決している。

さらに、**5374.jpのソースコードは公式サイトでオープンとなっており、各自治体のゴミ収集情報を利用すれば誰でも自分の街の5374.jpを作成可能である。実際に各地で開発され、その数は既に85以上にものぼる。**

このように、5374.jpは金沢市にとどまらず全国で広がりを見せている。自治体が積極的にデータを公開することで、各地に存在するシビックテックの活動はより一層勢いを増すこと予想される。

使用データ

各自治体のゴミ収集情報



データ形式

csv、PDF、HTML、Excel

提供形態

Webアプリ



受賞歴

オープンデータ・ビジネス・コンペティション
-最優秀賞 他多数

地域

全国85都市以上（2015年12月末時点）



シビックテックとは

ソフトウェアに関する知識や技術を持つ人たちが、自主的に集まって地域の日常生活にひそむ様々な課題を解決する、ボランティア活動やテクノロジーのこと。

その草分けとして、知られているのは「Code for America」である。彼らは積雪時に消火栓の場所がわからなくなってしまう課題を消火栓を地図上にプロットし、かつ掘り起こした人にその消火栓の命名権を付与することで解決したことで知られている。「Code for Kanazawa」はこの団体をモデルに名付けられた。